

ドイツ語圏のサブカルチャーファンと日本語

2016年8月の「日本語教育連絡会議」参加にあたって、アニメ漫画などいわゆるサブカルチャーのファンが日本語を学んでいるか、学びたいと思っているか、というテーマで簡単なアンケート調査を実施した。

イベント会場での質問形式と合わせて SNS やグーグルのサービスを利用してとったアンケートはなんと1日で100件以上の回答をえることができたが、「連絡会議」では、その結果発表のみで時間切れとなった。今回は、もう一歩進んだ取り組みを試みたい。

まず、自立学習者が学習方法を解析、さらにその成果は、どのレベルまで到達しているのか、ということ。また、モチベーションには、サブカルチャーからの日本への興味が当然あったとしても、日本語学習とその興味が関係しているのかも調査したい。

質問形式をさらに吟味して同様にネット上で実施しあわせて、その中で顕著な傾向を代表するような回答者には独自にインタビューも試みたい。

高島慶子